



### 高校生が考える!!

大阪府立豊中高等学校能勢分校 地域魅力化クラブ

## リユースパネルで太陽光発電所設置!!

～Eバイクの充電ができます!～

※Eバイクとは電動アシスト自転車のこと



sunsun通信第18号で報告しました、府立豊中高校能勢分校地域魅力化クラブの皆さんの今年度の1歩進んだ取り組みについて再び報告します。

能勢分校の地域魅力化クラブの皆さんは、2021年9月4日、とよなか男女共同参画センターのホールで、豊中市民エネルギーの会創立5周年特別企画として「ゼロカーボンへの第1歩」のテーマで発表し、その中で「eバイクで学校へ行こう!」の取り組みについて「通学路に峠が多く、自転車での登下校や学校の農場へ行くのが大変です、そこで送迎の車ではなく、CO2が出ないeバイクを導入し、そのエネルギーを作りたい」と自分たちの生活にねざした課題について発表してくれました。

この発表から1年、なんと本当にeバイクの充電用のエネルギーをまかなえる太陽光発電所を、自分たちの手で、助けを借りながら設置しました。

能勢町の、統合で廃校になった旧東中学校の校庭のかたすみに、太陽光発電所のパネル（イオン

環境部が寄贈）が野ざらしになっていました。このパネルがまだ使えるということで、これを移設して電気を作り、eバイクの電力の自給をしようと考え、生徒たちとワークショップで発電所を設置することになったとの案内をいただきましたので、9月30日、豊中市民エネルギーの会からも、浦野理事、会員の上須さん、衛藤の3人で参加しました。

太陽光パネル38枚をぞうきんで拭き、組立の台





に運び上げてビスでとめた、出力は8KW、パワーコンディショナーの出力は1.5KWのため、同時に充電できるeバイクは10台程度となり、加えてポータブル蓄電池1000Wも1台設置しました。

このリユースのパネルの太陽光発電所は、能勢分校の教材用として設置されたもので、eバイクの充電用として使用しながら、今後の使い方を生徒たちが考えるという課題が与えられました。そうすると探求学習としての今後の展開にも目がはなせません。生徒の皆さんにはぜひエネルギーの課題追及を続けてほしいですし、それを、多くの皆さんで支援することが大事だと思います。豊中市民エネルギーの会としても何ができるか、一緒に考えます。

しかし、どのような展開になっても、地域の未来を考え、エネルギー問題を考えたすえでの“未来への提言”としての前進の1歩であることには間違いありません。とにかくここまで来たことに、関係各位、特に支える地域の皆さま、高校生の提案でできた地域新電力会社「能勢・豊能まちづくり」の皆様に心から敬意を表します。そしてワークショップに声をかけてくださったことに感謝いたします。



大阪府立豊中高等学校能勢分校 3年

中岡 睦喜

私は太陽光パネルの設置に関わる機会を得た。高校生という立場でありながらこの活動に参加できたことを大変嬉しく思う。この活動では貴重な体験ができ、また再生可能エネルギーの活用を身近に感じることができた。

太陽光パネルを実際に工具を使って取り付けたり、みんなでパネルを掃除したりすることで太陽光パネルの設置の過程を知ることができた。加えて、地域の人々等、この活動を支援してくださっている方々と楽しく交流できたことも嬉しく思った。

この活動により再生可能エネルギーが実際に使用可能になることで、今までは言葉や知識としてしか知らなかった「再生可能エネルギー」というものが私の中で現実味を帯びてきた。e-bikeの充電にも使うことになるだろう。そうなれば、より再生可能エネルギーというものを体感できるのだろうと楽しみでしかたがない。

設置された太陽光パネルは、能勢の中学校が廃校になり使用されていなかったものの中でまだ使えるものを再利用（リユース）して使っている。さらに、使えなくなったパネルはパーツごとにリサイクルされるという。太陽光パネルの使用後まで考えられていて、安心してこのパネルを使うことができる。

この活動が能勢町における再生可能エネルギー使用の事例となり、町の人々に再生可能エネルギーの有用性を感じてもらえると良いと思う。

今後は維持・管理と有効活用について考え、後輩たちにこの太陽光パネルを残し、このエネルギーに触れてたくさんのことを感じ、学んでほしい。

## SDGs探求学習で、箕面自由学園高等学校と、府立刀根山高等学校から、豊中市民エネルギーの会へ聞き取りがありました。

### ◎箕面自由学園高等学校

2022年7月22日 於：豊中情報サロン

箕面自由学園高等学校からは 次のような質問が来ました。

- ・おひさま発電所設置の準備で大変だったことはなんですか
- ・この活動の中で自分の知らなかったことや興味を持ったことはありますか
- ・今後再生可能エネルギーを広めようと思いませんか？
- ・2030年までに達成したいエネルギー問題がありますか

- ・日々の活動で学んだことはなんですか
- ・今の日本のSDGs問題で伝えたいことはありますか



・再生可能エネルギーについて、あまり世の中で広まっていないが、大事なことはありますか

そして、夏休みだというのに、6人の生徒さんがそろって情報サロンに来てくれ、山崎理事、高橋理事と衛藤で対応しました。

※後日、箕面自由学園からお礼の手紙が来ました。

箕面自由学園高等学校

2-17

紙村 北野 小井 郡 武田

### 豊中エネルギーの会を訪問して

7月22日は、訪問を受け入れてくださってありがとうございました。

私たちは今、SDGsについて勉強しています。

「地域の環境や暮らしをもっと良くする」というテーマでSDGsについてもっと理解を深めるために、訪問をお願いしました。

電気について、将来のエネルギーについてなど、様々な説明をしてくださいました。また、私たちが用意していた質問に一つ一つ丁寧に答えてくださいました。本当にありがとうございます。

特に印象に残ったお話は、保育園の屋根に太陽光パネルを設置するまでの過程のお話でした。この活動がもっと広がれば、日本の将来のエネルギーに関わる問題が減っていくだろうと思いました。

現在は、「自分たちで気づいた問題を解決すること」を目標に活動しています。調べていることは変わりましたが、伺ったお話をもとに自分で考えてグループのメンバーと話しています。豊中エネルギーの会さんとの関わりで得た経験が、私たちの力になっていることを感じます。

学んだことをずっと忘れず、今後も頑張っていきます。繰り返しになりますが、私たちのためにお時間を作ってください本当にありがとうございました。

### ◎府立刀根山高等学校

府立刀根山高等学校からは2つのグループから申し込みがあったので、

7月23日の蛍池公民館での「じぶん発電」講座と、7月26日情報サロンでの「動画で学んでエコ工作しよう」に会関係の資料を提供することになっていたため、その案内をして、参加方々話し合いたいと伝えました。

その結果、26日に2年生の牛澤弥音さんが参加してくれ、まず、自然エネルギーの持続可能にむけて何ができるかのや、豊中市の太陽光発

電設置数などの質問があったので、質問内容によっては、市役所に聞いた方が詳しいと伝えました。対応は浦野理事と、衛藤でした。

また、8月22日、2年生の池田ジュリさんと蛍池公民館のフロアでお会いし、自然エネルギーへの取り組みやCO2の削減について話し合いました。対応は衛藤でした。

### 府立刀根山高等学校 2年8組 牛澤弥音さんのグループからの礼状

先日はご多忙にもかかわらず、お時間をいただき有難うございました。

豊中市民エネルギーの会の皆様が自然エネルギーを普及するために行っている様々な活動について知る機会をくださってありがとうございます。ソーラーパネルを公共施設に設置する活動についての話がとてもおもしろく、印象的でした。との話も興味深いものばかりで勉強になりました。

ご指導いただきましたことをふまえ、研究を進めてまいります。また、疑問点や不明点などが出てまいりましたら際には、ご指導いただけましたら嬉しいです。

いろいろ不十分な点ではありますが、温暖化への危機感を伝え、若い世代とのつながりを作るには、このような活動に丁寧に答えることが大事だと思いました。興味関心を持ってくれたことにまず感謝です。

### SDGs（持続可能な開発目標）とは？



持続可能な開発目標（SDGs）とは、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標です。

2015年9月に、「国連持続可能な開発に関するサミット」が、ニューヨークで開催されました。ここで、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が、世界各国の政府によって採択されました。

この「2030アジェンダ」のなかに、SDGsの17の目標が示されています。これら17の目標を、2030年までの15年間で達成することを目指して、世界は2016年から取り組みを始めています。



# 活 動 報 告

## 1. 7月23日(土) 蛭池公民館主催「災害時にも役立つ ペランダで作るじぶん発電」

参加者：15人(会場10名うち小学生2名+ZOOM5名)

コロナ禍ということもあって、参加を会場とzoomという実験的方法で実施しました。

終了後、zoom参加者の方が急いで会場に来て、現物を見て質問したという状況を考えると、zoomのやり方についてはさらなる工夫が必要だと課題が残りました。

感想：

- ・テレビ ニュースキャスターでフジイチカコさんの電気代0円を見て、自分も電気代節約のために参加しました。コロナ対策でZOOMで事前に資料がありましたので、太陽光パネル費用をしらべていました。設備にかなり費用がいるので、電気代の回収は無理と判断。野外や災害時に活躍しそうなので、1万円以内になったら買おうかなと思いました。
- ・実際、担当者が手を動かして作る場所を見なかったです。動画も何回も再生してほしかったです。

他多数の感想がありました。



# 活 動 予 定

日時 2023年1月22日(日) 13:30~16:30

場所 大阪府教育会館たかつガーデン  
3F カトレア

内容 「集まって話そう地球の環境、私たちの未来」の交流会で、実践報告として、豊中市民エネルギーの会の山崎博文理事が報告します。

日時 2023年3月4日(土)

場所 とよなか男女共同参画センター すてっぷ  
内容 すてっぷフェスタ

「地球があぶない!、今私たちにできること」として報告の予定(10分程度)

## 2. 7月26日(火) 市民活動情報サロン主催「夏休みSDGs体験「動画で学んで、エコ工作しよう」に当会の「手回し発電」の資材提供し、エコ工作の資材提案等で協力した。

第1部午前の部、6ファミリー。第2部午後の部、2ファミリーが参加し、エコ工作、LEDライトキーホルダーの工作を楽しんだ。



## 3. 10月1日(土) 吹田アジェンダ21主催「じぶん発電」組み立て講座

吹田アジェンダは「じぶん発電」組立講座参加者に補助金を出して大好評で、今回はそのうちの10人のファミリーが参加した。

ウクライナのエネルギー状況が報道されるにつれ、エネルギーや食糧の自給率を高めるのが、国民を守る大きな役目だと痛感します。今冬は電気代高騰を考え、節電を心掛け、新しい年に向かいましょう!

特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会  
連絡先 560-0034 豊中市蛭池南町3-2-11-105  
電話 06-6843-3568 (FAXも同じ)  
メール masumi-e@hotmail.co.jp  
郵便振替 口座記号番号 00920-2-332550  
加入者名 豊中市民エネルギーの会